第17期第1回島根海区漁業調整委員会

日 時：令和7年6月6日（金）14:00～16:10

場 所：松江テルサ大会議室

出席委員の氏名

(1番) 小川 喜美夫	(2番) 倉田 健悟	(3番) 寺本 太
(4番) 矢倉 淳	(5番) 渡邊 恭郎	(6番) 堀 浩之
(7番) 福田 薫	(8番) 福島 充	(9番) 山根 幹男
(10番) 梅田 信男	(11番) 月森 久樹	(12番) 福間 文雄
(13番) 青山 善一郎	(14番) 永松 正則	(15番) 福島 英治

1. 開 会

(事務局長が開会及び会の成立を宣言)

(会長互選前のため、事務局長が臨時の進行を務める)

(委員の自己紹介)

2. 挨拶

【横田次長】知事の挨拶を代読 [省略]

(県職員の自己紹介)

3. 海区漁業調整委員会について

(委員会規定等のご説明)

(くじによる議席の決定)

4. 議 事

(1) 会長及び会長職務代理者の互選について（協議）

【事務局長】 会長及び会長職務代理につきましては、漁業法第137条第2項により、委員が互選することになっております。そのため、仮の議長を選出して会長及び会長職務代理者の選出をしていただきたいと思います。慣例として事務局から仮議長の案を提案しておりますが、皆様、いかがでしょうか

か。

〔拍 手〕

【事務局長】 それでは、事務局から渡邊委員を仮議長とさせていただいて、議事を進めたいと考えております。いかがでしょうか。

〔拍 手〕

【事務局長】 そうしますと、渡邊委員、仮議長をお願いします。仮議長席へどうぞ。

【渡邊仮議長】 先ほど事務局から御指名をいただきました渡邊です。至って不慣れではございますが、皆様の絶大なる御協力をよろしくお願いします。座って議事を進めさせていただきます。

さて、早速ですが、議事に入ります。会長及び会長職務代理の互選ということでございます。選出方法については、これまでの慣例により、同様の方法で選出されているようですが、まず、事務局よりこれまでの方法について説明をお願いします。

【事務局長】 これまでの慣例といたしまして、漁業者委員の中から経験年数、年齢等を勘案しまして、出雲部から2名、石見部から2名、合計4名から成る選考委員を仮議長が指名いたしまして、この場で組織して候補者を選出しておられます。

【渡邊仮議長】 分かりました。今、事務局より御説明がありましたが、今回も同様の方法で選出したいと思いますが、御異議はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ありがとうございます。御異議がなしとの声がありましたので、それでは、説明のあった方法で選考委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、選考委員を発表させていただきます。出雲地区から、青山委員、寺本委員。石見地区から月森委員、梅田委員。この4人を推薦いたします。よろしくをお願いします。

【事務局長】 それでは、場外のほうで協議をお願いしたいと思いますので、選考委員の方は私と一緒に場外への移動をお願いいたします。

〔場外での協議〕

【渡邊仮議長】 選考が終わったようですので、委員会を再開します。

選考委員の方、一括報告をよろしく申し上げます。

【青山委員】 選考委員の青山でございます。先ほど4名で協議いたしました結果、会長に永松委員、会長職務代理に福島英治委員を提案いたします。

【渡邊仮議長】 ありがとうございます。本委員会の会長として永松委員、会長職務代理として福島英治委員ということでございます。この案を本委員会で決定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔拍 手〕

【渡邊仮議長】 ありがとうございます。お二人、永松委員、福島英治委員、ひとつよろしく申し上げます。どうぞ、もう一度お二人に盛大なる拍手をお願いいたします。

〔拍 手〕

【渡邊仮議長】 大変、ふつつかな進行でございましたが、以上、会長、会長職務代理を決定いたしました。皆さんの御協力ありがとうございました。

【事務局長】 渡邊委員、ありがとうございました。それでは、新会長に議長席に移っていただきたいと思います。永松会長、よろしく願いいたします。それでは、まず、新会長、挨拶をお願いします。

【永松会長】 挨拶[省略]

〔拍 手〕

【事務局長】 ありがとうございました。

それでは、会長職務代理の福島英治委員、一言お願いいたします。

【福島（英）会長職務代理】 挨拶[省略]

〔拍 手〕

【事務局長】 ありがとうございました。

それでは、ただいまより議長による進行に移りたいと思います。議長、よろしく願いいたします。

【永松会長】 議事に入る前に議事録署名委員を指名いたします。

1番の小川委員、2番の倉田委員、よろしく願いいたします。

それでは、議事に入ります。

(2) 連合海区漁業調整委員会委員等の選出について（協議）

【永松会長】 連合海区漁業調整委員会委員等の選出についてですが、これらの委員の選出は従来、事務局側からの原案を示してもらい、それを基に検討しておりますが、そのやり方でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

ありがとうございます。

それでは、事務局、説明をお願いいたします。

【事務局長】 お手元に事務局の案をお配りさせていただきました。表の左側が16期の委員の方々、右側が17期の委員の方々になります。17期につきましては、16期の委員の方をそのまま引き継いでもらう形を取っております。それから樋野委員がお辞めになられましたので、その代わりに鳥取・島根連合海区の委員のところに小川委員が入っていただいております。日本海・九州西広域漁業調整委員会の委員は、島根海区の会長を選出することが慣例となっておりますので、今後、隠岐海区での承認を得た上で永松会長を選出する予定です。事務局の案は、以上でございます。

【永松会長】 ありがとうございます。委員の皆様、質問や意見があるようでしたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

ありがとうございます。特に意見がないようですので、この委員の方々に各連合海区及び広域漁業調整委員会に臨みたいと思います。委員の皆様、よろしくお願いいたします。

(3) 定置漁業の免許申請について（諮問）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりましたが、この件について御質問、御意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、本件については諮問ですので、異議ない旨答申いたします。

(4) 定置漁業の保護区域の設定について（協議）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりましたが、この件について委員の皆様、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

【福島（充）委員】 8番、福島です。保護区域の設定についてですが、これを見ますに、前からちょっと疑問に思ってたんですが、網はまあよしとして、釣り及びはえ縄で、特に、釣りの部分で、灯火を伴う漁法、言わばイカ釣りについてのルールがここではうたわれていないのですが、その辺について県はどういうふうなお考えでしょうか。

【水産課】 灯火を伴うものは、もうちょっと規制をかけたほうが良いということでしょうか。

【福島（充）委員】 それもですし、そういう考えもありますし、県のほうの意見は、このままでいいと思ったりされるのか、ちょっと検討したほうがいいのか。結構、定置網は夏場にいか釣りとのトラブルが起きるんです。特に、遊漁船は何もルールを知らない人が、定置網のアンカーのアバの付近で釣っていたりします。

【水産課】 周知とか取締りの関係で、一律で既存のものに併せてやらせていただきたいと思っております。令和10年の更新の際に、例えば灯火がどれだけ影響があるかとか、その辺の実態調査もしながら設定をしたいと思えます。来年ぐらいからの作業になりますが、またそういったお話を聞かせていただけたらと思えますので、よろしく申し上げます。

【福島（充）委員】 分かりました。よろしく申し上げます。

【永松会長】 ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、本件については協議ですので、指示を発動することといたします。

(5) 島根県資源管理方針の変更について（諮問）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりましたが、この件について委員の皆様から御質問、御意見があれば頂戴したいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、本件については諮問ですので、異議ない旨答申いたします。

(6) 令和7管理年度の知事管理漁獲可能量の設定について（諮問）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 丁寧な説明ありがとうございます。事務局からの説明が終わりましたが、この件について委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【梅田委員】 10番の梅田です。ブリの個体の重さですが、大体6キロか7キロをブリという認識です。そのような個体の重量の規定はどうなっていますか。

【水産課】 ここで規定しているブリは、標準和名のブリのことで、サイズに関係はございません。

【梅田委員】 小さいもの、モジャコみたいなものもブリなのでしょう。

【水産課】 そうです。モジャコもブリとなります。

【梅田委員】 分かりました。

【永松会長】 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、本件は諮問ということで、異議ない旨答申いたします。

(7) 知事管理漁獲可能量の変更について（諮問）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 はい、ありがとうございます。事務局からの説明がありましたが、この件について御質問、御意見がありましたら委員の皆様お願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、本件は諮問ですので、異議ない旨答申いたします。

(8) 知事許可漁業の制限措置等及び許可の有効期間を定めることについて（諮問）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 ありがとうございます。今、事務局から説明がありましたが、この件について委員の皆様、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、本件は諮問ですので、異議ない旨答申いたします。

(9) 令和7年度全漁調連（日本海ブロック会議）への要望事項について（協議）

〔事務局 説明〕

【永松会長】 はい、ありがとうございます。事務局から説明がありましたが、この件について御質問、御意見があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 それでは、特に修正もないということで、事務局案により提出したいと思います。

(10) 知事管理漁獲可能量の変更について（報告）

〔水産課 説明〕

【永松会長】 ありがとうございます。それでは、事務局からの説明が終わりましたので、委員の皆様、御質問、御意見ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 （意見等無し）

【永松会長】 こちらは報告ということです。

(11) 第2期島根県農林水産基本計画について（報告）

〔沿岸漁業振興課 説明〕

【永松会長】 ありがとうございます。事務局から説明がございましたが、委員の皆様

様から、御質問、御意見があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【倉田委員】 2番の倉田です。県のこの方針として良好な漁場環境の整備の例に挙げられている藻場の造成について、いつぐらいに、どれぐらいまでやるといふ目標はあるのでしょうか。また、そういうのをやったときにどれぐらい効果があったのかという検証まで含めて計画をやっているのか、その辺の目標をどの程度具体的に持ってやっているのかを教えてくださいたいと思います。

【沿岸漁業振興課】 藻場造成等につきましては、県内3地区で藻場回復ビジョンを立てております。その中で計画的に藻場造成をしていく。藻場が減っている場所に、藻場礁を造成していくといった計画は立てております。すぐということとはなかなか難しいですが、隠岐、出雲、石見で毎年1か所ずつ以上は整備を進めていきたいと、計画を進めているところです。整備した後どうなっているかということは、その後のモニタリングなどを実施しながら見ていきたいと思っております。そのほか、水産の多面的事業とか地元の漁業者等が主体になった取組で、小型の藻場礁の整備も進められているところです。それについても、モニタリングは必要なことになってまいりますので、きちんと今後の成果も見ていきたいと考えております。

【倉田委員】 例えば、前回の委員会でもありました、結構な水深のところに非常に大型な物を沈めている国のプロジェクトでは、結構な予算が入っていると思います。どれぐらい本当に魚が増えたとか、漁業生産が増えたかという検証がなかなか伝わってこないところです。この藻場整備は確かに良いのかもしれませんが、どれぐらい効果あるのかを分かりやすく説明していただけたらなと思っております。それから、漁業環境の整備については、単にその藻場以外にも流動の改善とか、近いところで中海では閉鎖性をよくするとか、くぼ地を何とかするとか、いろんなやり口はあると思うんですけど、そういったところの検討は、水産からあまり声が聞こえてこないところです。自然環境に手をつけられるところはそんなにないとは思いますが、できるところはなるべく自然環境をよくして行って、よ

り豊かな生産ができるような場所を作っていくところを今後の方針として入れてほしいので、その辺は御検討いただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【永松会長】 事務局のほうから、よろしいでしょうか。

【沿岸漁業振興課】 はい。

【永松会長】 倉田委員、学識経験者の立場から貴重な御意見ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員一同】 (意見等無し)

【永松会長】 それでは、本件は報告でしたので、以上といたします。

(12) 全国海区漁業調整委員会連合会表彰について (報告)

【事務局長】 海区委員を10年務めますと、全国海区漁業調整委員会連合会会長から表彰されることになっております。このたび、渡邊委員が表彰されることとなりましたので、ただいまより、この場をお借りしまして伝達式を行いたいと思います。

【永松会長】 このたび、渡邊恭郎委員が全国海区漁業調整委員会連合会より、長年の功績が認められ表彰されましたこと、心よりお祝い申し上げます。渡邊委員の今後のさらなる御活躍を島根海区漁業調整委員会として期待しております。

(感謝状の代読) [省略]

【事務局長】 ありがとうございました。以上をもちまして、伝達式を終了いたします。

(その他)

【永松会長】 それでは、その他ということで事務局から情報提供等ありましたらお願いいたします。

【事務局長】 全漁調連の日本海ブロック会議が10月23日に島根県で開催の予定でございます。詳しくは、改めて御案内させていただきますけれども、皆様の御出席、よろしければ、よろしくお願いたします。

【永松会長】 ありがとうございます。皆様から何か御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

【委員一同】 (意見等無し)

【永松会長】 それでは、以上で議事は終了しました。

(次回の開催予定)

【永松会長】 事務局から次回の開催予定について説明をください。

【事務局長】 次回ですけれども、知事管理漁獲可能量の設定などを御審議いただくために、本年の12月に開催する予定でございます。

【永松会長】 それでは、以上をもちまして本日の委員会終了となりますが、初めてということで、議事進行、皆様の御協力で時間内に終了することができました。どうもありがとうございました。

県職員及び事務局員として出席した者の職・氏名

農林水産部	次長	横田 幸男
水産課	課長	秋山 昌宏
	課長補佐	石橋 茂人
	主任	土井 奈緒子
沿岸漁業振興課	調整監	堀 玲子
東部農林水産振興センター	水産部長	小谷 孝治
	水産課長	福井 克也
	主任	竹谷 万理
西部農林水産振興センター	水産部長	原 修一
	主任	佐藤 勇介
水産技術センター	所長	道根 淳
島根海区事務局	事務局長	伊藤 博理
	主任書記	高橋 一郎
	主任書記	吉田 太輔
	主任書記	寺谷 俊紀

以上、議事の内容を記し、その相違ないことを認証する。

令和7年6月6日

議 長

永松 正則

議事録署名者

小川 喜美夫

議事録署名者

倉田 健悟